

「ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム
(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・先端ゲノム研究開発)」
研究開発課題 事後評価結果

研究開発課題名	精緻な疾患レジストリーと遺伝・環境要因の包括的解析による糖尿病性腎臓病、慢性腎臓病の予後層別化と最適化医療の確立
代表機関名	川崎医科大学
研究開発代表者名	柏原 直樹
全研究開発期間	平成30年度 ～ 令和4年度

【評価コメント】

国民のニーズにあった重要な研究テーマについて、関連学会と連携したオールジャパン体制を整備して進めている。

ゲノム解析と臨床的形質の評価と統合解析では、糖尿病性腎臓病の表現型と関連する遺伝子多型、血清リン濃度を規定する遺伝因子、腎機能低下速度に関わる遺伝素因等について、いくつかの候補因子が得られた点は評価された。しかしながら、社会実装として期待する具体的な成果が、このステージゲート評価時点ではあがっておらず、新規薬剤についての取り組みも予定のみであったという指摘があった。

以上